

様式第1号（第3条関係）

危険物仮 貯 蔵 場所承認申請書（例）
取 扱

正

		〇〇年 〇月 〇日
福山地区消防組合〇消防署長 様		
申請者 住所 〇〇市〇町〇丁目〇番〇号		
名 前 〇〇工場株式会社 代表取締役社長 消防 太郎		
電話 〇〇〇-〇〇〇		
申請場所	〇〇市〇町〇丁目 〇番 〇号	〇郡 〇町 〇番地
周囲の状況		
〇〇工場株式会社 東側 南側（別添図面参照） 西側 北側		
期 間	〇〇年 〇月 〇日から 〇〇年 〇月 〇日まで	10日間（法10日以内）
危険物の類 第 4 類第1石油類（ガソリン）	品名、数量 3,000 リットル キログラム	指定数量の 15 倍
貯蔵又は 200 リットルの金属製容器（ドラム缶）を貯蔵し、手動ポンプを用いてドラム 取扱方法 缶から金属製携行缶への詰め替えを行う。安全対策は別紙のとおり。		
貯蔵又は取扱いを 被災地における燃料不足により、災害復興支援車両等への燃料補給を 必要とする理由 行うため。注入完了後、流出等ないことを確認し完了する。		
消火設備 ABC 粉末消火器 2 本		
危険物取扱者 名前	危険物 次郎	所有免許 乙種第4類
※ 受付欄	※ 経過欄 承認年月日 承認番号	※ 手数料

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 ※印欄は記入しないこと。
- 4 申請場所及び周囲の状況図面を添付すること。
- 5 屋内の場合は前号のほか建物構造明細書及び建物平面図を添付すること。

[危険物仮貯蔵・仮取扱場所承認申請書（例）記入要領]

- 1 仮貯蔵、仮取扱いのいずれか一方しか行わない場合は、実施しない申請を二重線で抹消する。
 - 2 申請日（申請提出日）を記入する。
 - 3 宛先は、「〇〇消防署長」と記入する。
 - 4 「申請者」欄は、申請者が法人の場合は、その名称、代表者名、事務所の所在地及び電話番号を記入する。
 - 5 「申請場所」欄は、仮貯蔵等を行う場所の所在地及び名称を記入する。
 - 6 「期間」欄は、期間が10日以内になるよう年月日及び期間を記入する。
 - 7 「危険物の類、品名、数量」欄は、類、品名、仮貯蔵等をする最大数量及び指定数量の倍数を記入する。
 - 8 「貯蔵又は取扱い方法」欄は、仮貯蔵等の方法及び静電気対策や流出防止措置等の安全対策を具体的に記入する。
 - 9 「消火設備」欄は消火設備の設置について具体的に記載する。
- ※各欄の記入事項を別紙にして添付することもできる。